

ロボットと人間：交錯する東西文化

— 機械に「心」は宿るか —

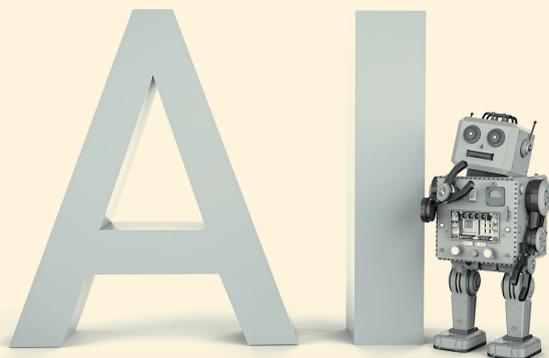
第75回公開講座

2023年 3月7日・8日・9日・10日

●会場／本学1号館地下1階 1001教室

●時間／13:00～15:00

●コーディネーター／踊 共二〈本学副学長〉



古代ギリシア神話から最先端のロボティクスまで

第1回 召使いか共生者か？

3/7(火) 講師 踊 共二〈本学副学長〉

ヨーロッパのオートマタと日本のからくり人形

第2回 自動人形は何を思う？〈玉屋庄兵衛氏による実演あり〉

3/8(水) 講師 小山 ブリジット〈本学名誉教授〉・九代玉屋庄兵衛〈からくり人形師〉

1秒間24コマの我が人生

第3回 鉄腕アトムからメトロポリスまで

3/9(木) 講師 りんたろう〈アニメーション監督〉

“人間化”するロボットたち

第4回 汎用AIは実現するか

3/10(金) 講師 松原 仁〈東京大学教授〉

【受付期間】2023年1月30日(月)～2月16日(木) 定員/先着140名

【受講料】(全4回) 2,000円(一般) 500円(武蔵大学在学学生父母、武蔵学園卒業生) 無料(高校生、在学生*)

*在学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、研究生、練馬区特別履修生を指します。

【支払方法】受講初回に、会場の受付にて現金でお支払いください。

【申込方法】裏面をご覧ください。



MUSASHI
UNIVERSITY

武蔵大学

許可なく転載することを禁止します。

経済学部

人文学部

社会学部

国際教養学部

3/7(火)

古代ギリシア神話から最先端のロボティクスまで: 召使いか共生者か 講師: 踊 共二 (本学副学長)

副学長として大学の研究力の強化とリベラルアーツ(すなわち狭い専門の枠組みを超えた総合的で分野横断的な学び)の推進に取り組んでいます。専門は西洋史・キリスト教史・東西文化交流史。出版物として『記憶と忘却のドイツ宗教改革』『忘れられたマイノリティ』『アルプス文化史』『ヨーロッパ読本: スイス』などがあります。

ロボットを自動人形の延長と考えれば、その構想(空想)と製作の歴史は古代に遡ります。その活用範囲は労働だけでなく芸術や宗教の領域に及びます。東西世界の歴史を振り返りながら、便利な召使いに、あるいは愛すべき共生者に、また恐ろしい敵に、さらには神々しい崇拜の対象となった自動人形・ロボットの数々を紹介します。

3/8(水)

ヨーロッパのオートマタと日本のからくり人形: 自動人形は何を思う? 講師: 小山 ブリジット (本学名誉教授)・九代玉屋庄兵衛 (からくり人形師)

日本とフランスの文化、文学、美術史を研究。近年の出版物(フランス語)として『東京、新しい都、明治時代の錦絵』『新版画』『日本の絵画における動物』『パリの日本: 1930年代明治時代の日本人、日本愛好家』『妖怪、日本美術における幻想』『日本の美人画: 日本美術における女性の表象』などがあります。

自動人形はいつ、どのような目的で作られたかについて考えます。地球上のはるかに離れた地域においても人々は自動人形を作り、その動きによって生命を吹き込みました。ヨーロッパの「オートマタ」と日本の「からくり人形」を比較し、似ている面と違う面を考察します。講演の後半はからくり人形師、九代玉屋庄兵衛先生(現代の名工)の実演とトークおよび聴講者との対話の時間です。

3/9(木)

1秒間24コマの我が人生: 鉄腕アトムからメトロポリスまで 講師: りんたろう (アニメーション監督)

父親の影響で映画に魅せられ、1958年に東映動画(現東映アニメーション)に入社。その後、手塚治虫の虫プロダクションに移籍、日本初のTVアニメ「鉄腕アトム」の演出に携わる。フリーになり、「宇宙海賊キャプテンハーロック」を1978年に監督。翌年の初長編アニメ「銀河鉄道999」は日本国内で大ヒット。先進的な技術を探り入れて2001年に「メトロポリス」を監督。2009年にはマッドハウスでフルCGの「よなよなペンギン」を制作。現在、自伝バンド・デシネを執筆中(フランスで出版予定)。

人類社会に第7の芸術として誕生した『映画』のなかにアニメーションという分野があります。8歳のとき初めて見たこの『映画』という魔物に取り憑かれたときから私の「1秒間24コマの我が人生」が始まりました。本日はその『映画』という不思議な世界についてお話します。アニメーションにおけるロボット(鉄腕アトム)の登場とその逸話などで彩りを添えたいと思っています。

3/10(金)

“人間化”するロボットたち: 汎用AIは実現するか 講師: 松原 仁 (東京大学教授)

東京大学次世代知能科学研究センター教授。私立武蔵高校卒。東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。電子技術総合研究所(現産業技術総合研究所)、公立はこだて未来大学を経て現職。専門は人工知能(AI)。元人工知能学会会長。著書に『鉄腕アトムは実現できるか』『先を読む頭脳』『AIに心は宿るのか』など。

AIは知能を人工的に実現することを目指す研究領域で、具体的な目標イメージが人間のようなロボットである「鉄腕アトム」です。いまのAIは画像認識や囲碁・将棋など一部の能力に特化していますが、人間の知能はさまざまな能力に対応できる汎用性を持っています。ここでは汎用AIを目指す取り組みについてお話します。

お申し込み・受講に関するご案内

PC専用申し込みサイトより
お申し込み

▼
<https://web.634.co.jp>

FAX、メール、郵送によりお申し込み

▼
下記の①～⑥を明記の上、申し込み先まで送信(郵送)してください。

- ①第75回公開講座「ロボットと人間: 交錯する東西文化」
- ②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所
- ④電話番号 ⑤FAX番号(ある方)
- ⑥申込区分(一般、本学在学学生父母、本学園卒業生、本学在学学生、高校生) ※本学在学学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、研究生、練馬区特別履修生を指します。

●個人情報の取り扱いについて

武蔵大学公開講座受講者の個人情報は、本学の個人情報保護方針に従って厳重に管理し、武蔵大学公開講座の運営並びに本学からの各種講座のお知らせ及び統計的集計を行う目的以外に使用することはありません。各種講座の案内送付は、当該業務の委託を受けた業者(以下「委託業者」という。)において行います。武蔵大学公開講座受講者の個人情報は本学が明示する用途のみに使用し、委託業者にはその委託業務を越えた利用はありません。また、委託業者に対しては、個人情報が、漏洩・流出することのないよう厳重な管理を義務づけます。今後、本学からの各種講座の案内を希望されない場合は、お手数ですが、武蔵大学 大学庶務課(03-5984-3713)までご連絡ください。

●注意事項

- (ア) いったん納入された受講料は原則お返しできません。
- (イ) やむを得ない事情により、講師の変更、講義を延期または中止することがあります。
- (ウ) 緊急(休講等)の連絡をすることがありますので、申し込み後、住所あるいは電話番号等の変更があった場合には、速やかにご連絡ください。
- (エ) 本学には駐車スペースがありませんので、お車・バイク等でのご来場はご遠慮ください。

※本学在学学生、高校生の方は、当日学生証または生徒証をお持ちください。
※お申し込み時点で定員に達している場合は、こちらからご連絡いたします。
※携帯電話でメールを送る場合、ドメイン指定受信をしている方は、申し込み先アドレスを受信するドメインに設定してください。
※お申込後、「受付票」は2月17日頃発送いたしますので、当日お持ちください。

お問い合わせ
お申し込み先

(株)武蔵エンタープライズ (講座当日は会場対応のため閉室しております)
〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1 (武蔵大学内) TEL : 03-5984-3785
FAX : 03-5984-3787 E-mail : kouza@musashi.ac.jp URL <https://web.634.co.jp>

